

日本骨髄バンクの現状（2001年8月末）詳細は別添一覧を参照下さい。

	前月	当月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,768	2,203	140,799	171,718
患者登録者数	166	150	1,648	11,353
骨髄移植例数	55	55	-	3,558

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

① 米国からのチャーター便による生命のリレー。骨髄液の緊急輸送、完了

米国同時多発テロ事件の影響によって、延期となっていた米国のドナーの方から日本の患者さんへの3件の骨髄移植について、日本骨髄バンク(当財団)は緊急対応として民間チャーター便による骨髄液の緊急輸送を行いました。3人のドナーの方々からの骨髄液は、15日午後7時30分頃、羽田空港に到着、速やかに患者さんの待つ関東地区の2病院、近畿地区の1病院に運ばれ、それぞれ無事、移植が終了しました。事件による航空便の運航停止のため、この3件の骨髄採取はいったん延期され、輸送ルートの確保が検討されていました。全米骨髄バンク(NMDP)が輸送ルートの確保に全力を尽くした結果、米国の一部の空港が開いたものの、航空機出発と席の確保の確実性が見込めない状況から、チャーター便によって3件の骨髄液をいっしょに輸送することが最適と判断したものです。ドナーの方々も提供意思が強く、日程調整には全面的にご協力くださいました。米国ドナーの方々、NMDPの皆さま、骨髄採取を担当された病院関係者、輸送運搬を行った人々、特別機受け入れに尽力をいただいた日本政府関係者——本件に関わられた多くの関係者に、当財団は、心より感謝いたします。チャーター便の費用は13万5000ドル(約1600万円)。日本骨髄バンクは、テロ事件によって発生した不測の事態による費用であるため、患者・施設への負担を請求することはせず、広く国民の皆さまから募金を募ることにいたしました。別紙ご参照のうえ、ご理解、ご協力のほどよろしく願いいたします。

② 平成14年度政府補助金概要明らかに。骨髄バンクへの補助金減額へ

8月末、骨髄移植分野に関する平成14年度の政府補助金の概要が明らかになりました。骨髄移植の推進に関する補助金は本年度の9億5800万円から9億3700万円への減額と、大変、厳しい内容。当財団への補助は2億5696万円と本年度の2億6463万円から2.9%(767万円)の減少。なかでもコーディネート関連費用の連絡調整者関係経費は8.0%の削減です。普及啓発費のなかで新たに「骨髄提供登録者確保推進事業費」が新設となり1112万円が付きまして。これは、ドナー登録会を開催するための経費の一部がはじめて補助金として認められたものです。

ドナー登録会、献血並行登録会の開催に地方自治体の役割は高まる一方ですが、都道府県、政令市、特別区への補助金は4155万円から2875万円と大幅に削られました。全体に、移植件数、コーディネート件数が大幅に伸びている。ドナー登録者30万人に向けての体制整備が急務になっている——などを考慮に入れると、非常に厳しい内容となりました。財団としては、引き続き、政府の財政的支援について、要望を続けていく所存です。

③ ドナー登録推進体制の整備急務。厚生労働省、日本赤十字社に要望書

国主催の骨髄バンク関係者会議が6月末から8月上旬にかけて、全国6ブロックで開催され、各地域において「移動献血並行型のドナー登録受付」が進められることとなりました。しかしながら、各地のドナー登録推進体制がほとんど整っていないのが実態。当財団としては、政府目標のドナー登録30万人を一日も早く実現するための具体的方法について、普及広報委員会、企画管理委員会で検討を重ねてきました。その結果「ドナー募集、登録受付」体制を見直し、当財団、日本赤十字社、地方自治体、ボランティアの役割分担を明確にし、相互連携によりドナー登録30万人をめざして欲しいとする提案をまとめ、9月18日、国、日本赤十字社に要望書を提出しました。

④ 8月の登録会開催数57回。ドナー登録者、ようやく14万人突破

8月のドナー登録者数は2203人で、取消者数は980人、実質増加数は1223人という実績で、ドナー登録者数は14万人を超えました。登録会は57回実施され(うち献血並行型41回)、合計913人の方にご登録をいただきました。都道府県別の登録会の開催数は、東京12回、愛知10回、沖縄9回、福島3回、兵庫3回、群馬3回、栃木3回、岡山2回、埼玉2回。北海道、新潟、宮城、茨城、京都、千葉、福岡、秋田、和歌山、徳島が1回という実績でした。

5 日テレ系24時間テレビ『最後の夏休み』。反響で問い合わせ殺到

8月19日の日本テレビ系24時間テレビ「愛は地球を救う」のなかで、骨髄移植をテーマにしたドラマ『最後の夏休み』が放映されました。放送後、骨髄バンクのフリーダイヤルには問い合わせの電話が殺到、回線はパンク状態。うれしい悲鳴をあげました。

6 名古屋、ロサンゼルスで舞台「友情」公演。海を越えて広がる感動の輪

名古屋・中日劇場で、8月3日～27日まで行われた舞台「友情」のロングラン公演が終了、42回公演で、4万4千人もの方々にご覧いただくことができました。8月11日、12日にはロサンゼルス・リトル東京の日米劇場で公演。2日間4公演で約2400人が観劇、感動を呼びました。

7 大泉逸郎さん「骨髄バンク支援のためのチャリティーコンサート」開催

昨年に続き、演歌歌手の大泉逸郎さんの「骨髄バンク支援のためのチャリティーコンサート」が、9月7日(金)、東京・浅草公会堂で開催されました。白血病を発病した息子さんのドナーとなった経験をお持ちの大泉さんには、日頃の歌手活動のなかでも骨髄バンクの普及啓発にお力添えいただけますが、今回もチャリティー公演の収益金寄付を賜り、来場者の方々も募金にご協力くださいました。

8 新規コーディネーター養成研修始まる。開講式に続き、実務研修開始

8月31日～9月2日、東京医科大学講堂にてコーディネーター養成研修会の開講式ならびに基礎講義が行われました。受講者の方々はやや緊張した面持ちでしたが、熱心にメモをとられ、活発な質疑応答もなされました。これから約半年間、各地区事務局を中心に、実際のコーディネート場面の研修を受けていただき、実際に、委嘱するのは2002年4月からとなります。

9 10周年記念関係行事の日程決定。全国100カ所で一斉登録会実施

「10周年記念のつどい」(記念大会)の開催が、11月25日(日)、東京・本郷の東大安田講堂に決まりました。移植患者、ドナー体験者をはじめ、関係者の皆さまのご参加により、この10年の意味を再確認し、新たな発展を目指す集いを企画しています。12月8日(土)には「全国一斉ドナー登録会」を実施します。10周年記念と、骨髄バンク推進月間の行事のひとつとして、全国の約100カ所、一斉にドナー登録会を開催するというものです。各赤十字血液センター、都道府県、政令市、特別区、支援団体の皆さまなどのご協力要請が不可欠となりますので、ご協力をお願い申し上げます。

10 骨髄バンクの大型ポスター、原宿駅ファッションボードに登場

10月3日～10日まで、当財団設立10周年事業の一環として、JR原宿駅ホーム前の約150mに渡り、骨髄バンクの大型ポスター(3m×4m)16枚が掲示されます。これは本ボードを管理するNKBと住友スリーエム、2社のご協力で実現したものです。骨髄バンクと関係の深いスポーツ選手や芸能人などが登場します。11日以降、約6カ月間はホーム裏側(竹下通り側)に掲出される予定です。若い世代のドナー登録者増加につながることを期待されます。

国際協力事業の状況()、HLA照合サービスタブ状況期間

日本 米国	
米国 日本	
日本 台湾	
台湾 日本	
日本 韓国	
韓国 日本	
その他の国 日本	

* 4半期ごとに掲載です。

お知らせ

ドナーズネット(<http://www.donorsnet.net>)、ますます充実

皆さまのご支援によりキャンペーンサイト「ドナーズネット」のページビューも5万を超え、最近
はリンクのお問い合わせも多数。ドナーズネットの輪は着実に広がっています。現在、1997年
に骨髄異形成症候群で骨髄移植を受けたプロゴルファー中溝裕子さんのインタビューや、17回忌
を迎えた故夏目雅子さんの話題を掲載中です。

当財団への問合せが減少しています。各団体や企業、サークル等の機関紙にドナー登録問い合わせ
電話「財団フリーダイヤル0120-445-445」「ドナーズネット<http://www.donorsnet.net>」の掲載
をお願いします。